

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 景翠会	代表者	富田 春郎	法人・事業所の特徴	金沢動物園近くの閑静な住宅街に位置しており、安全な環境のもと、四季を感じて頂ける散歩外出や、月に一度のイベントを開催しています。長きに渡りこの地域で育んできた、金沢病院グループの医療・介護の経験を活かし「地域で暮らす方々が、その人らしく、ご自宅での生活が続けられるよう」柔軟なサービスで対応させていただきます。
事業所名	けいすい小規模多機能さとやま	管理者	吉田 広子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	3人	2人	1人	人	2人	人	12人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・各種評価、ミーティング等を活用し、個人及びチームとしての介護技術向上を図る。	・評価、ミーティング、研修によりスキルアップを図ることができた。 ・意思統一ができた。	・資格取得に励み、地域の高齢者の為に学んでいる姿がうかがえる。	・各種研修により個々の介護技術向上を図るとともに、職員間の情報共有を密にし利用者・家族と良好な関係を維持する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・施設内の動線を安全に確保し、事故の未然防止を図る。	・整理整頓に努め、事故抑制につなげる事ができた。	・施設内は清潔感がある。	・施設内で季節を感じられる飾りつけに努める。 ・日々の清掃で施設内を清潔に保つ。
C. 事業所と地域のかかわり	・複数の町内会に情報発信をする。	・複数の町内会にさとやまの情報を発信することができた。	・町内会には多才な方が多いので協力・連携していきたい。	・近隣地域との関係を密にし、地域とのつながりを継続していく。 (ボランティア、行事、防災訓練等)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・近隣保育園との交流を継続する。 ・イベント等で外出の機会を持ち、社会との関わりを増やす。	・保育園との交流を年に2度行った。 ・月に1度のイベントを継続し、喜ばれた。	・計画、実行は大変だがイベントを継続してほしい。	・イベントの継続により利用者が外出する機会を持つ。 ・近隣ボランティアの協力を得て、地域とのつながりを継続する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・さとやまの良さを発信するとともに、地域からの情報・要望を得ることが出来るようにする。	・会議で地域からの情報を得る事ができた。	・運営推進会議に参加することでさとやまが利用者とどのようにかかわっているのかがよくわかる。	・会議において地域活動の情報を得るとともに、地域や家族の介護相談の場として活用してもらう。
F. 事業所の防災・災害対策	・年2回の防災訓練を継続する。 ・AEDの講習を実施する。	・5/17,11/15 に防災訓練を実施した。 ・初の試みで、煙体験を実施した。	・今年も多くの地域の方の協力を得て、防災訓練を実施することができた。	・年2回の防災訓練を実施し、近隣の方の協力を得る。 ・地域の防災訓練に参加する。